

生産性向上に関するKPI

KPI①（介護テクノロジー導入率）

1 KPIの定義

介護テクノロジー導入率

※1 見守り機器等の介護テクノロジーを1つ以上導入している事業所を1とカウント。デジタル庁のダッシュボードで確認。
※2 全国目標に合わせ、2026年50%、2029年に90%の導入を目標とし、現時点の導入率からの毎年の必要上昇率を算定。

2 KPIの設定

指標	現状値	目標値				
	2024年 (令和6年)	2025年 (令和7年)	2026年 (令和8年)	2027年 (令和9年)	2028年 (令和10年)	2029年 (令和11年)
介護テクノロジーの導入率	30.3%	48%	61%	71%	80%	90%
毎年の上昇率	—	158%	127%	116%	113%	112%
参考（全国）	31.2%		50%			90%

3 KPIの達成のための取組

介護テクノロジー補助金による導入支援

介護ロボット・ICT機器等の補助金を活用し、介護施設等への導入を促進する。

（令和8年度予算：370,000千円）

介護職場サポートセンターぐんまによる導入支援

介護職場サポートセンターぐんまによる相談支援や、生産性向上推進体制加算や介護職員等処遇改善加算の取得支援等を図る。

KPI②（ワンストップ窓口における支援件数）

1 KPIの定義

ワンストップ窓口における相談対応件数、専門家派遣数、伴走支援の実施事業所数

2 KPIの設定

指標	現状値	目標値
	2025年 (令和7年)	2026年 (令和8年)
介護職場サポートセンターぐんまへの相談対応件数	115件	130件
専門家派遣数	34件	35件
伴走支援を実施した事業所数	—	15事業所

3 KPIの達成のための取組

- HP等からの情報発信の質、頻度の向上を図り、センターの認知度の向上を目指す。
- 事業所へのアウトリーチ支援でテクノロジー導入後の活用状況を確認し、必要な助言や支援を継続して行っていくことで事業所の生産性向上に繋げる。
- R8年度は介護テクノロジー導入率が低い小規模事業者に対し、専門家による伴走支援を集中的に実施。

KPI③（離職率の改善）

1 KPIの定義

県内の介護職員の離職率の改善

2 KPIの設定

指標	現状値	目標値				
	2024年 (令和6年)	2025年 (令和7年)	2026年 (令和8年)	2027年 (令和9年)	2028年 (令和10年)	2029年 (令和11年)
離職率	9.5%	9.1%	8.7%	8.3%	7.9%	7.5%
参考（山形県）	7.5%					

3 KPIの達成のための取組

介護職場サポートセンターぐんまによる生産性向上及び労働環境等の改善支援

介護テクノロジー定着支援事業実施事業所に対する継続的な支援を実施し、業務の改善、効率化を図るとともに、アドバイザーによる相談援助や、専門家派遣によるコンサルティング等の実施により労働環境の改善を図り、人材の定着支援に繋げていく。